



仙台・集団移転跡地活用事業 99%決まる

沿岸部にぎわい創出へ

仙台・集団移転跡地利活用の事業者と内容

地区	事業者	内容
南蒲生	橋本建機 MLTTU	「海の近くのビッグラウン」(仮称) 農産物の生産・加工・販売、 障害者就労支援
新浜	カントリーパー新浜 遠藤環境農園 風手土農園	ビオトープと冬水田んぼ 農業 (畑) 養鰯、農業 (畑)
	仙台東ーミナルビル 仙台東ポーツネットワーク 荒浜のめぐみキッチン 荒浜復興推進協議会「イナサの風」 荒浜フイフイガーデン フアーム・SURF-SIDE荒浜 深沼アグリサービス 今野不動産 平松農園	体験型観光果樹園 スポーツ、レクリエーション施設 「深沼ベース」(仮称) 黒松の育苗 市民農園 市民農園 養鰯、農業 (畑) 「ラララガガーデン」(仮称) 農産物の生産 (畑) 「井土ねぎ」の生産 温泉複合施設「アクアアイグニス 仙台」(仮称)
井土	農事組合法人井土生産組合	
藤塚	仙台reborn	

仙宮市が進める東日本大震災に伴う防災集団移転跡地の利活用事業は、5地区35区画（計44万2605平方メートル）のうち、99.7％に当たる33区画（計44万780平方メートル）の事業者が決まった。現在は更地が広がる市沿岸部だが、今後は集客施設や農園などの整備が本格化する。昨年11月に全線開通した東部復興道路と共に、被災地にぎわいを創出する跡地利活用の内容を地区ごとに紹介する。

●南蒲生地区 称）を開設する。障害者も橋本建機（名取市）が今、年5月中旬のオープンを目指し、天然芝を張った「海の近くのビッグラウン」（仮隣で営む事業を拡大する。

●新浜地区 市は常時募集している。平方メートルの利活用が未定で、残り2区画（約1485

ビッグラウンや農園、温泉複合施設も



ク新浜（若林区）が2018年5月、ビオトープと冬環境農園（宮城野区）は、にもオープンさせる。

宮城野区岡田でカンエ風と手と土を営営する鈴木孝博さん（52）は来場者が二

アトと触れ合い、卵を購

入できる「風手土農園」を

20年度にも始める。「他の

事業者と連携し、地区に入

を呼び込みたい」と意気込

「京東日本グループの仙

台井土ねぎ」の20年度から

区）が、アクトビラ野菜「仙

法入の井土生産組合（若林

地元農家による農事組合

の生産開始を目指す。

●藤塚地区

建設業の深松組（青葉区）

などが設立した仙台reborn

が22年4月、レスト

スポート施設「アクトビラ

林区）は、サッカー場など

をオープンさせる。

の運動施設を21年度中に整

備。市民団体の荒浜のめぐ

みキッチン（同）は、地域

資源を使った体験イベント

の新たな活動拠点「深沼ベ

ース」（仮称）を20年度に

新設する。

荒浜の元住民たちが養鰯

を営む深沼アグリサービス

（若林区）は20年度に本格

的な鶏舎を建設し、事業拡

大に乗り出す。今野不動産

ト広場のある「ラララガ

（青葉区）は農園やイベント

にもオープンさせる。

平松農園（若林区）は農

災遺構荒浜小に隣接する

宮城野区岡田でカンエ風

と手と土を営営する鈴木

孝博さん（52）は来場者が二

を21年度にも開く。元住民

が加わる市民農園や松の育

苗事業なども計画されてい

る。

●井土地区

地元農家による農事組合

の生産開始を目指す。

●藤塚地区

建設業の深松組（青葉区）

などが設立した仙台reborn

が22年4月、レスト

スポート施設「アクトビラ

林区）は、サッカー場など

をオープンさせる。